

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
 本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっただけのため、

取付け作業前に必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。

☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

●マフラー周辺は、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。部品の交換作業やボルトの増し締め作業は、マフラー周辺が十分冷めていることを確認の上、作業を行ってください。

●素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行ってください。

●取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行ってください。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行ってください。

●もし万が一、本製品や取り付け部にキレツ等を確認した場合は、すぐに使用を中止してください。



注意

●海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをしてください。

●サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承ください。

本製品の構成部品について

●取扱説明書	×1	●M10×110×30 ボルト	×3
●サイドステップ前席用本体 (右又は左)	×1	●M10×120×30 ボルト	×1
●前席用フロントステー(右又は左)	×1	●M10×30 ボルト	×4
●前席用リアステー(右又は左)	×1	●10SW	×4
●当て板 (I字型) (右側用の場合 ×1)		●10平W	×12
(左側用の場合 ×2)		●10ナット	×4
●当て板 (コの字型) (右側用の場合 ×1)		●10フランジナットセレード付	×4

(※片側分の構成部品の数です。)

(※写真のステップ本体はステンレス製です。)



本製品の取付手順について

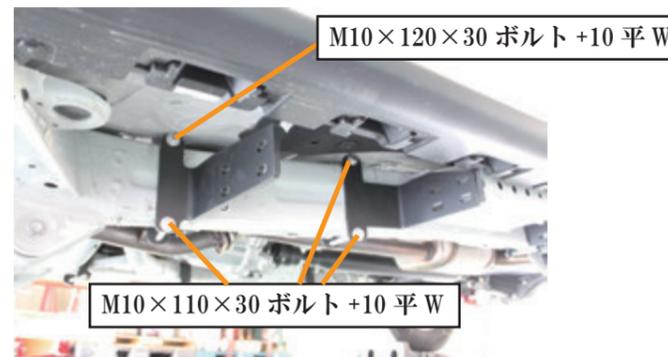
●前席用

1 下図を参考に前席用フロントステーと当て板を付属のM10×120×30ボルトとM10×110×30にて車体フレームに仮止めして下さい。

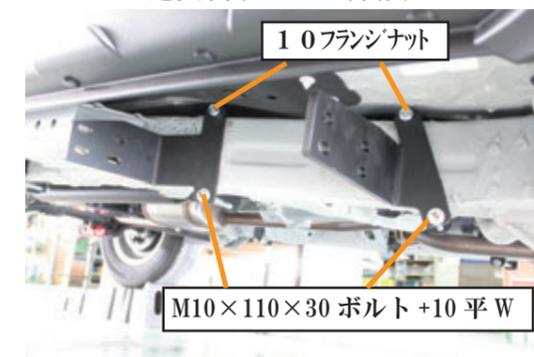
2 下図を参考に前席用リアステーと当て板を付属のM10×110×30ボルトにて車体フレームに仮止めして下さい。(※ボルトは締めすぎると当て板が曲がってしまいます。締めすぎない様に注意して下さい。)

(※個体差によって車体フロア面と10平Wが当たる場合がありますので、当たる場合は10平Wを抜いて取り付けて下さい。)

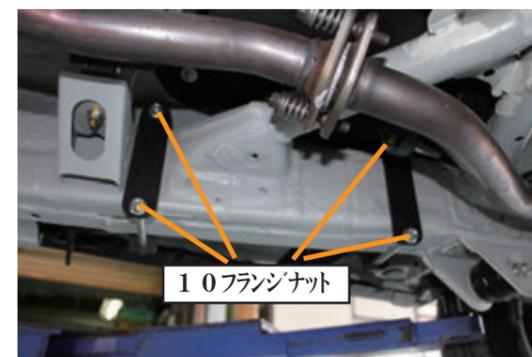
助手席側のフレーム外側図



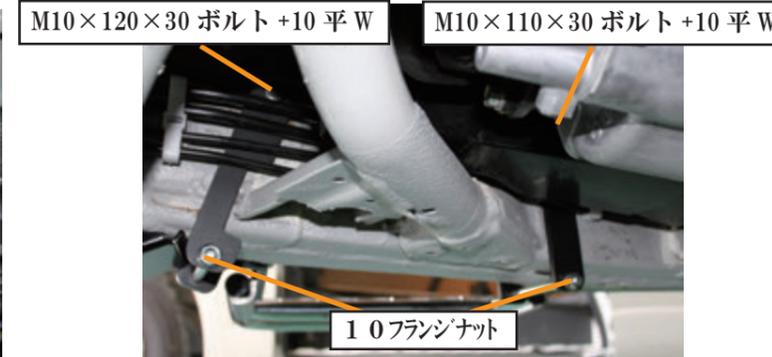
運転席側のフレーム外側図



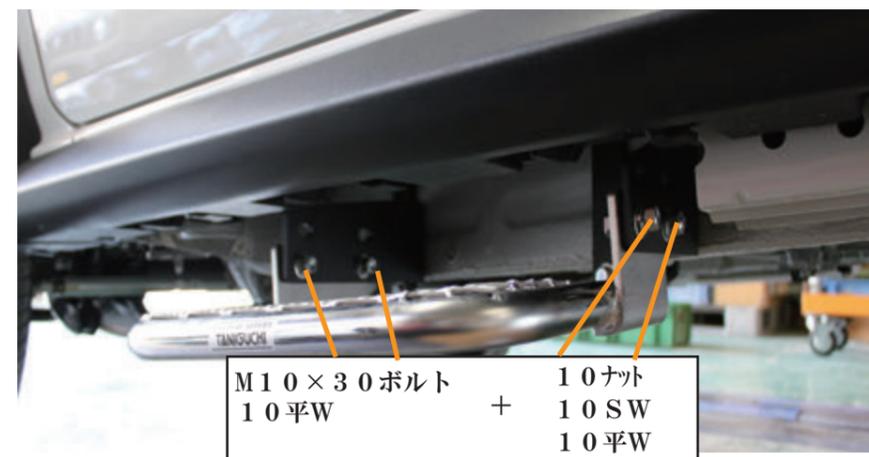
助手席側のフレーム内側図



運転席側のフレーム内側図



3 仮止めしたフレームステーに、サイドステップ本体を付属のM10×30ボルトにて仮止めして下さい。(取付位置は上下2段調整になっております。お好きな方を選んで取付けて下さい。)



4 全ての仮止めが出来ましたら一度全体のバランスを確認し、本締めして完了です。

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
 本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっていただくため、

取付け作業前必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。

☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

●マフラー周辺は、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。部品の交換作業やボルトの増し締め作業は、マフラー周辺が十分冷めていることを確認の上、作業を行ってください。

●素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行ってください。

●取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行ってください。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行ってください。

●もし万が一、本製品や取り付け部にキレツ等を確認した場合は、すぐに使用を中止してください。



注意

●海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをしてください。

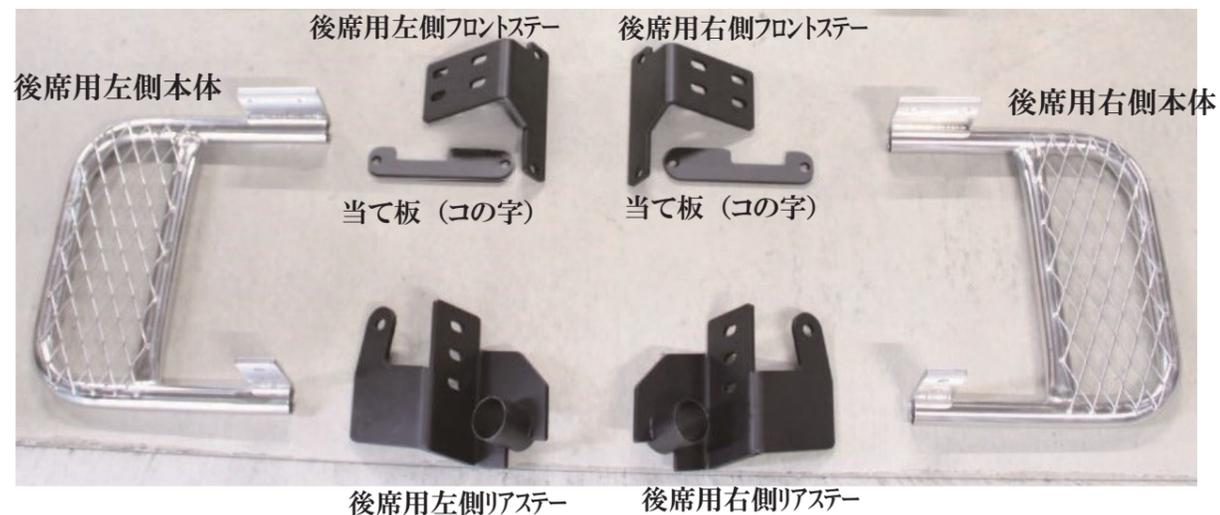
●サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承ください。

本製品の構成部品について

●取扱説明書	×1	●M10×90×26ボルト	×2
●サイドステップ後席用本体（右又は左）	×1	●M10×30ボルト	×4
●後席用フロントステー（右又は左）	×1	●10SW	×4
●後席用リアステー（右又は左）	×1	●10平W	×10
●当て板（コの字）	×1	●10ナット	×4
●M12×100×30ボルト	×1	●10フランジナット（セレード付き）	×2
●12ナット	×1	●3.2mm厚スペーサー	×1
●12平W	×2		
●12SW	×1		

（※片側分の構成部品の数です。）

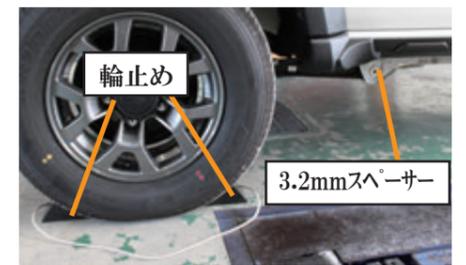
（※写真のステップ本体はステンレス製です。）



本製品の取付手順について

●後席用（※取付け作業は左右片側ずつ行って下さい。）

1 右図を参考に、車を地面の上のまま、リアタイヤに輪止めをしてから、トールリングアームのピボットのボルトを外し、3.2mmスペーサーをピボットの



外側の取付け穴に貼り付けて下さい。

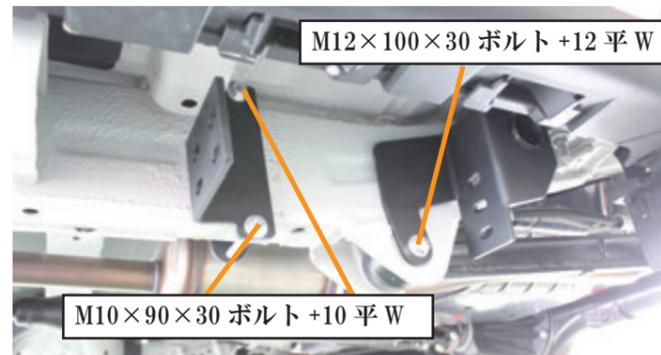
2 下図を参考に、後席用リアステーをフレームのパイプ部に差し込み、付属のM12×100×30ボルトにて仮止めして下さい。

3 下図を参考に、後席用フロントステーと当て板を付属のM10×90×30ボルトにて車体フレームに仮止めして下さい。

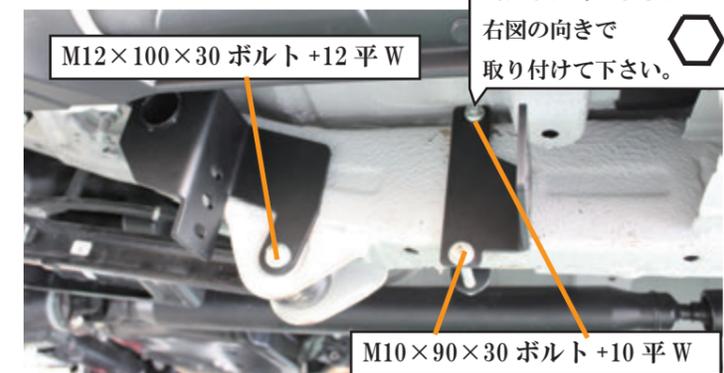
（※ボルトは締めすぎると当て板が曲がってしまいます。締めすぎないように注意して下さい。）

（※個体差によって車体フロア面と10平Wが当たる場合がありますので、フロント側上部外側の10平Wを抜いて取り付けて下さい。）

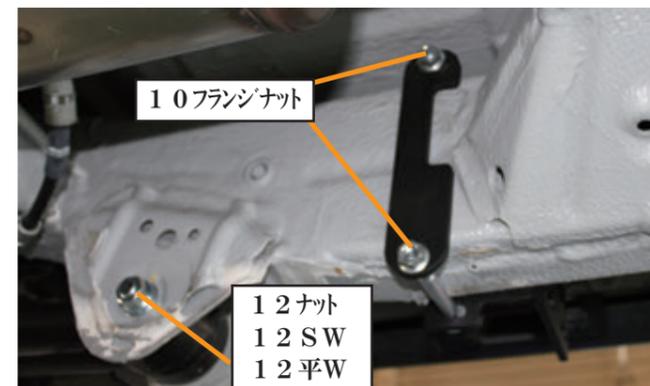
助手席側のフレーム外側図



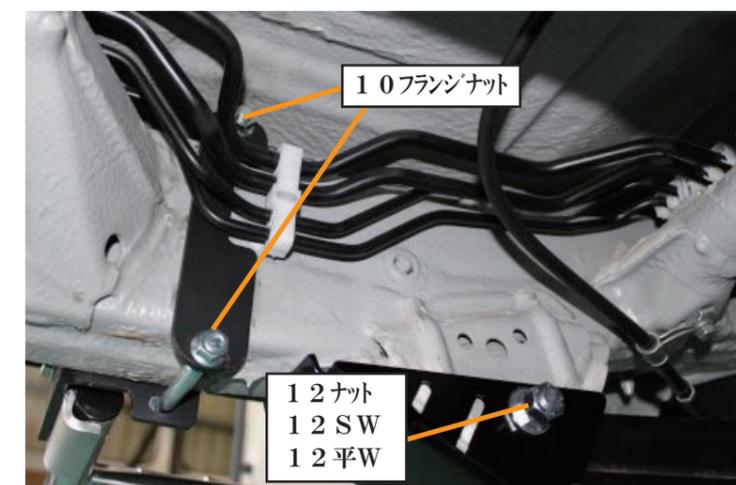
運転席側のフレーム外側図



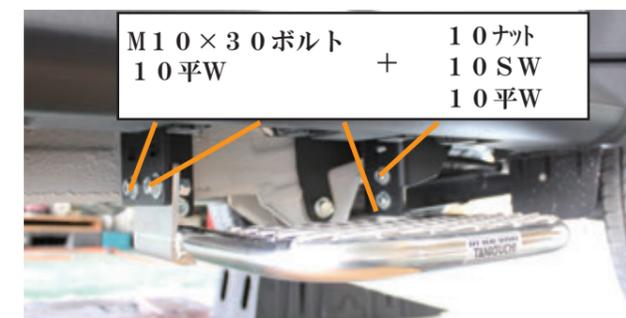
助手席側のフレーム内側図



運転席側のフレーム内側図



4 仮止めしたフレームステーに、サイドステップ本体を付属のM10×30ボルトにて仮止めして下さい。（取付位置は上下2段調整になっております。お好きな方を選んで取付けて下さい。）



5 全ての仮止めが出来ましたら一度全体のバランスを確認し、本締めして完了です。